

## 貸借対照表

平成18年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金	額
<b>【資産の部】</b>		
流動資産		
現金預金	47,090,840	
小口現金	85,399	
普通預金	47,005,441	
貯蔵品	6,580	
前払金	1,365,000	
立替金	23,530,146	
未収金	750,000	
流動資産合計		72,742,566
固定資産		
基本財産		
基本財産引当預金	100,000,000	
基本財産合計	100,000,000	
その他の固定資産		
什器備品	12,085,228	
退職給与引当預金	16,487,362	
その他の固定資産合計	28,572,590	
固定資産合計		128,572,590
<b>資産合計</b>		<b>201,315,156</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債		
未払金	905,929	
前受金	27,800,000	
預り金	441,565	
流動負債合計		29,147,494
固定負債		
退職給与引当金	17,389,560	
固定負債合計		17,389,560
<b>負債合計</b>		<b>46,537,054</b>
<b>【正味財産の部】</b>		
正味財産		154,778,102
(うち基本金)		( 100,000,000 )
(うち当期正味財産増加額)		( 2,415,967 )
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>201,315,156</b>

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

一般会計

1 重要な会計方針

- ( 1 ) 固定資産の減価償却について  
備品・・・・・・・・・・定額法による減価償却を実施している。
- ( 2 ) 引当金の計上基準について  
退職給与引当金・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- ( 3 ) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、前払金・前受金、仮受金・仮払金、貯蔵品及び立替金、預り金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は次の3に記載のとおりである。

2 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産引当預金	100,000,000	-	-	100,000,000
合 計	100,000,000	-	-	100,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	20,599,278	47,090,840
貯 蔵 品	8,400	6,580
前 払 金	1,365,000	1,365,000
立 替 金	17,005,845	23,530,146
未 収 金	56,280	750,000
計	39,034,803	72,742,566
未 払 金	1,697,353	905,929
前 受 金	0	27,800,000
預 り 金	438,910	441,565
計	2,136,263	29,147,494
次期繰越収支差額	36,898,540	43,595,072

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期除却額	当期末残高
備 品	16,186,341	3,490,834	610,279	12,085,228
合 計	16,186,341	3,490,834	610,279	12,085,228